【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公開番号】特開2001-43215(P2001-43215A)
【公開日】平成13年2月16日(2001.2.16)
【出願番号】特願平11-218652
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/21　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　17/30　(2006.01)
Ｇ１０Ｌ　13/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/765　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/21　５７０Ｒ
Ｇ０６Ｆ　3/00　６５１Ａ
Ｇ０６Ｆ　13/00　３５４Ｄ
Ｇ０６Ｆ　17/21　５６８Ｚ
Ｇ０６Ｆ　17/21　５７０Ｄ
Ｇ０６Ｆ　17/30　１７０Ｄ
Ｇ０６Ｆ　17/30　２２０Ａ
Ｇ１０Ｌ　3/00　Ｅ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月16日(2006.3.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　電子文書データに付加された１又は複数のビデオデータ指定情報を検出し、１又は複数の特定のビデオデータを選択するビデオ選択手段と、
１又は複数の電子文書データのうちの或る電子文書データを提示するために出力制御する文書出力制御手段と、
前記文書出力制御手段の制御により出力された電子文書データに対応して、前記ビデオ選択手段で選択されたビデオデータを出力制御するビデオ出力制御手段と、
を備えたことを特徴とする文書処理装置。
【請求項２】　前記文書出力制御手段により出力制御される電子文書データ、及び前記ビデオ出力制御手段により出力制御されるビデオデータを、同時もしくは個別に表示する表示手段を備えることを特徴とする請求項１に記載の文書処理装置。
【請求項３】　文書本文としての電子文書データから、その要約文としての電子文書データを作成することのできる要約作成手段を備え、
前記ビデオ出力制御手段は、前記文書出力制御手段が前記要約作成手段により作成された要約文を出力制御する際に、前記ビデオ選択手段で選択されたビデオデータが出力されるように制御することを特徴とする請求項１に記載の文書処理装置。
【請求項４】　前記ビデオ選択手段は、前記要約作成手段により作成された要約文に関連する１又は複数のビデオデータを選択することを特徴とする請求項３に記載の文書処

理装置。
【請求項５】　前記文書出力制御手段は、電子文書データが部分毎の切換表示もしくは移動表示されるように、電子文書データを出力制御するとともに、
前記ビデオ出力制御手段は、前記文書出力制御手段の制御による電子文書データ出力の進行に対応したタイミングで、出力するビデオデータを切り換えるように制御することを特徴とする請求項１に記載の文書処理装置。
【請求項６】　電子文書データが読み上げ音声として出力されるように制御する音声出力制御手段を備え、
前記ビデオ出力制御手段は、前記音声出力制御手段の制御により電子文書データが読み上げ音声として出力される際に、前記ビデオ選択手段で選択されたビデオデータが出力されるように制御することを特徴とする請求項１に記載の文書処理装置。
【請求項７】　前記ビデオ出力制御手段は、前記音声出力制御手段の制御による読み上げ音声出力の進行に対応したタイミングで、出力するビデオデータを切り換えるように制御することを特徴とする請求項６に記載の文書処理装置。
【請求項８】　前記ビデオデータは動画データであることを特徴とする請求項１に記載の文書処理装置。
【請求項９】　前記ビデオデータは静止画データであることを特徴とする請求項１に記載の文書処理装置。
【請求項１０】　電子文書データに付加された１又は複数のビデオデータ指定情報を検出し、１又は複数の特定のビデオデータを選択するビデオ選択手順と、
１又は複数の電子文書データのうちの或る電子文書データを提示するために出力制御する文書出力制御手順と、
前記文書出力制御手順での制御により出力された電子文書データに対応して、前記ビデオ選択手順で選択されたビデオデータを出力制御するビデオ出力制御手順と、
が行われることを特徴とする文書処理方法。
【請求項１１】　電子文書データに付加された１又は複数のビデオデータ指定情報を検出し、１又は複数の特定のビデオデータを選択するビデオ選択手順と、
１又は複数の電子文書データのうちの或る電子文書データを提示するために出力制御する文書出力制御手順と、
前記文書出力制御手順での制御により出力された電子文書データに対応して、前記ビデオ選択手順で選択されたビデオデータを出力制御するビデオ出力制御手順と、
を有する動作制御プログラムが記録されていることを特徴とする記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
＜インデックス　日付＝“AAAA/BB/CC”　時刻＝“DD:EE:FF”　文書アドレス＝“1234”＞
＜ユーザの操作履歴　最大要約サイズ＝“100”＞
＜選択　エレメントの数＝“10”＞ピクチャーテル＜／選択＞
・・・
＜／ユーザの操作履歴＞
＜要約＞減税規模、触れず－Ｘ首相の会見＜／要約＞
＜語　語義＝“0003”　中心活性値＝“140.6”＞触れず＜／語＞
＜語　語義＝“0105”　識別子＝“Ｘ”　中心活性値＝“67.2”＞首相＜／語＞＜人名　識別子＝“Ｘ”　語　語義＝“6103”　中心活性値＝“150.2”＞Ｘ首相＜／語　／人名＞
＜語　語義＝“5301”　中心活性値＝“120.6”＞求めた＜／語＞

＜語　語義＝“2350”　識別子＝“Ｘ”　中心活性値＝“31.4”＞首相＜／語＞
＜語　語義＝“9582”　中心活性値＝“182.3”＞強調した＜／語＞
＜語　語義＝“2595”　中心活性値＝“93.6”＞触れる＜／語＞
＜語　語義＝“9472”　中心活性値＝“12.0”＞予告した＜／語＞
＜語　語義＝“4934”　中心活性値＝“46.7”＞触れなかった＜／語＞
＜語　語義＝“0178”　中心活性値＝“175.7”＞釈明した＜／語＞
＜語　語義＝“7248”　識別子＝“Ｘ”　中心活性値＝“130.6”＞私＜／語＞
＜語　語義＝“3684”　識別子＝“Ｘ”　中心活性値＝“121.9”＞首相＜／語
＞
＜語　語義＝“1824”　中心活性値＝“144.4.”＞訴えた＜／語＞
＜語　語義＝“7289”　中心活性値＝“176.8”＞見せた＜／語＞
＜／インデックス＞
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
　また、＜ユーザの操作履歴＞および＜／ユーザの操作履歴＞は、ユーザの操作履歴の始端および終端を、＜選択＞および＜／選択＞は、選択されたエレメントの始端および終端を、それぞれ示している。最大要約サイズ＝“100”は、要約の最大のサイズが１００文字であることを、エレメントの数＝“10”は、選択されたエレメントの数が１０であることを示している。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８１】
　また、この文書分類ウィンドウ２０１は、分類モデルに対応する分類項目に応じた小ウインドウとして、文書分類エリア２０３，２０４，２０５・・・が形成される。
　文書分類エリア２０３は、“他のトピックス”を表示するエリアとされる。この”他のトピックス”の文書分類エリア２０３は、まだ分類されていない文書が提示される領域となる。例えば図４のステップＦ１１で受信された各文書（つまりこれから分類しようとする文書）は、この”他のトピックス”の文書分類エリア２０３に提示される。
　文書分類エリア２０４は、例えば”ビジネスニュース”に分類された文書が提示される領域となる。
　文書分類エリア２０５は、例えば”政治ニュース”に分類された文書が提示される領域となる。
　これら以外にも、図中で符号を付していない文書分類エリアは、それぞれ特定の分類項目に応じた文書が提示される領域となる。